

私の通知表 2025



今年が一番です。放射線技師をしています。毎年、職場内でのものがきを事細かく具体的に伝えてくれる卒業生です。

後輩たちを何とかして一人前にしてやりたい、次にできる後輩たちに適切な指導ができるようになってほしい、その想いが溢れる今年の年賀ではありました。

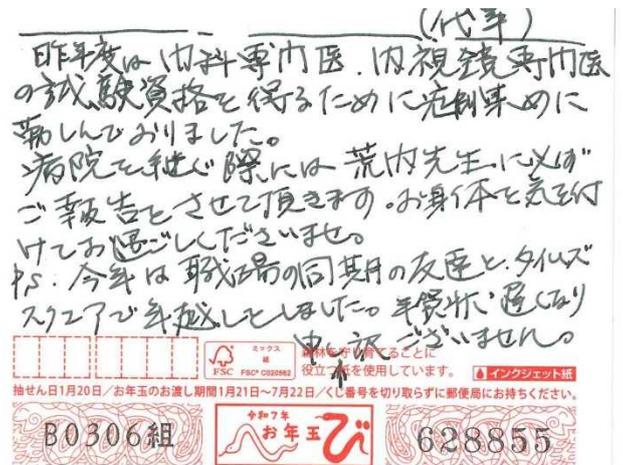
(34歳 男性)

親に代筆させてまで義理を果たす、いや、親が気を遣って代筆してくださったのかもしれない。

高校時代は親への反発しかなく、何を言われても反抗し或いは無視する姿ばかりでしたが、大学入試を前にして初めて本心を保護者に伝え、父親と同じ道を進む決意を卒業生です。

結果はそんな甘いものではなく、一年間血を吐くような努力と言葉も出ない投資をしてもらい、一年後医学部に進学し、今に至ります。

あと何年後になるか分かりませんが、跡を継いだときに改めて親の思いに気付けるかもしれません (29歳男性)



高校一年で、部活動での悩みから不登校に陥った生徒です。転学も視野に入り出した頃に、自分で自分の抱える問題に立ち向かい、不登校を脱しました。

部活動は辞めましたが、「教師になる」決意と共にそこから見違える姿、自信を溢れさせて、残りの高校生活を過ごしてくれました。

国立大学後期試験の面接で、自分が過ごした高校時代のこと、そこで得たこと、教師となり伝えたいことを伝えて見事合格。その後、充実した四年間を過ごせたようです。

一度や二度の立ち止まりは失敗ではない。大切なのはその立ち止まりから何を、何を学ぶきっかけを持つかですね。自ら悩み、悩んでいる児童に寄り添う姿を期待して、来年の年賀状を楽しみにしようと思います。

(23歳男性)



明けましておめでとウございませう。
おとふりです。私は元気にしています。
報告が遅くなりましたが、
採用試験に合格し、本年目となりました。
二年前に自衛隊、松江市にエタ、ン、
試験を受け、本年は隠岐での採用となりました。
今は隠岐の知夫小学校で徳子先生の担任です。
離島で、何も無い場所ですが、
気持ちを新たにがんばっています。
自衛隊も、子どもたちに陸上の指導は行っています。
本土まで二時間かかると、兵庫に帰ることはできません。
せんがまたお会いできることを楽しみにしています。
ぜひ、隠岐の島へも観光に来てくださいます。



島根県「出雲大社」森下 恒星 作

昨年も紹介した卒業生の続編です。捨てきれない想いは岩をも砕いたようで、島の素朴な子ども達と充実した日々を過ごしているようです。

恐らく兵庫に帰ってくることはもうないかもしれないけれども、11月に紹介した白バイ先導員とともに、いろんな気付き、こだわり、成長を遂げていってくれています。

お正月にこの年代を一番下にして、多くの高砂南高校卒業生が、新年会をしてくれました。厳しく激しい指導を懐かしむ声だけでなく、自分たちがいまそれを活かしていることがたくさんあると言ってくれることが、自分を信じて伝えてきてよかったですと思わせてくれました。

自分自身は厳しく指導したのは、いい加減な時間を過ごしていたときくらいで、結果に対しては一切指導したことはないと思っています。

(33歳 男性)

本校にも数度訪ねてきてくれた卒業生です。

四月から東京工業大学大学院に進学します。

昨年、前任校に教育実習で帰ってきて訪ねてきた折りに、伝えることの難しさ、伝わることの大切さの話をしました。

研究職に進むと考えていますが、場合によっては数年先に、教員として現場に現れる可能性も秘めているのかと思うような文面です。

(23歳男性)



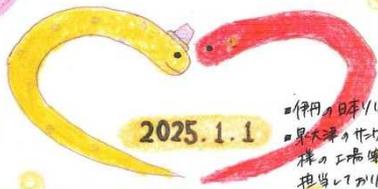
謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます
本年もよろしくお願いたします
令和7年 元旦

2025

教育実習に行き、教員の多忙さを満感感じた
打つと響かぬの声を聞く難さが、やりがい
あると感じました。

HAPPY NEW YEAR



2025.1.1

伊丹の日本リノース様
異大津の作ワウイイ
様の工場等も
担当させていただきます!

荒内先生、ご無沙汰しております。社会人になり、
6年が経ち、中堅の立場となり、責任も
やりがいを感じています。倉庫や工場、事務所、
ホテル等幅広い内容を経験できる部署に所属
しており、大変な毎日ですが、後輩や先輩、上司
にも恵まれて楽しく過ごしています。最近の担当
として西宮の稲垣莫大(株)の事務所、工場が
あります。まだ企画段階ですが、大阪イオンスや
ホテルを担当しています。荒内先生に教えて頂いた
ことが今に繋がっていると感じています。私事
ですが、この12月結婚する運びになりました。
仕事と家庭を両立し、頑張っています!

部活動の付き合いも一年。学年で授業を教えたわけでは
ないのですが、長い縁となりました。

部活動的には力のある生徒でしたが、高3の総体を前に
立っているのもやっとなのである怪我をしてしまったけれども
本人の強い意志で、痛み止めを打ち患部を固定して大会に
臨み、自己ベストを出しました。建築関係への進学を強く
希望したのですが、現役での大学合格は叶わず、とある建築
大学校への進学をしました。

その後の活躍は、ただ何となく大学に進学し、ぼんやり日々
を過ごした者よりも明らかに充実度は違い、仕事のやり甲斐
を毎年のように生き活きと報告してくれます。

人生の伴侶も得たとの報告も聞き、益々の活躍を祈るばかり
です。

(27歳 女性)



今年もよろしくお願いいたします

日々、自身の未熟さを感じながらも、着々として航空機技術者の道を歩んでおります。来年度からは、JAXAに出向させて頂くことになりました。先生のお便りには、毎年元氣付けになります。どうぞご愛戴下さい。

左は、帰国子女で英語は抜群、国語は致命的な生徒でした。もとは東北大学で航空工学の学びを志しましたが、叶わず上智大学進学後、今に至りました。自分を知り、自分を鍛え続けることの大切さを教えてくださいませ。

(29歳 男性)

右は、結果的には二年続けて室蘭工業大学に合格、その後、大学院で二年どっぷり室蘭に浸かっていましたが、目指したかった開発業務に携われることになったようです。

粘り勝ちと簡単には済ませられないが、想いを努力に変えた結果ですね。

(25歳 男性)



あけましておめでとうございます。昨年度より、東芝に入社しました。(新卒です) 新卒線の設計・開発をして、夢をかなえることができました。今も、先生の言葉と元気に頑張りたいと思っております。



先生の言葉にいつも背中を押してもらい、その言葉を信じて、今、教員として立っています。お観にお礼です。一歩一歩大切に過ごしていきます。

長距離をしていた生徒で、警察官、公務員を経て、教員採用試験に合格、現在定時制高校に勤務しています。

背中を押すと言うよりも肩に言葉を投げ掛け続けて、押し潰す寸前だったかもしれませんが、本人が「いま」背中を押してもらっていると言うならその言葉を大切にしましょう。

(36歳 男性)



今年もよろしくお願いいたします
令和7年 元旦

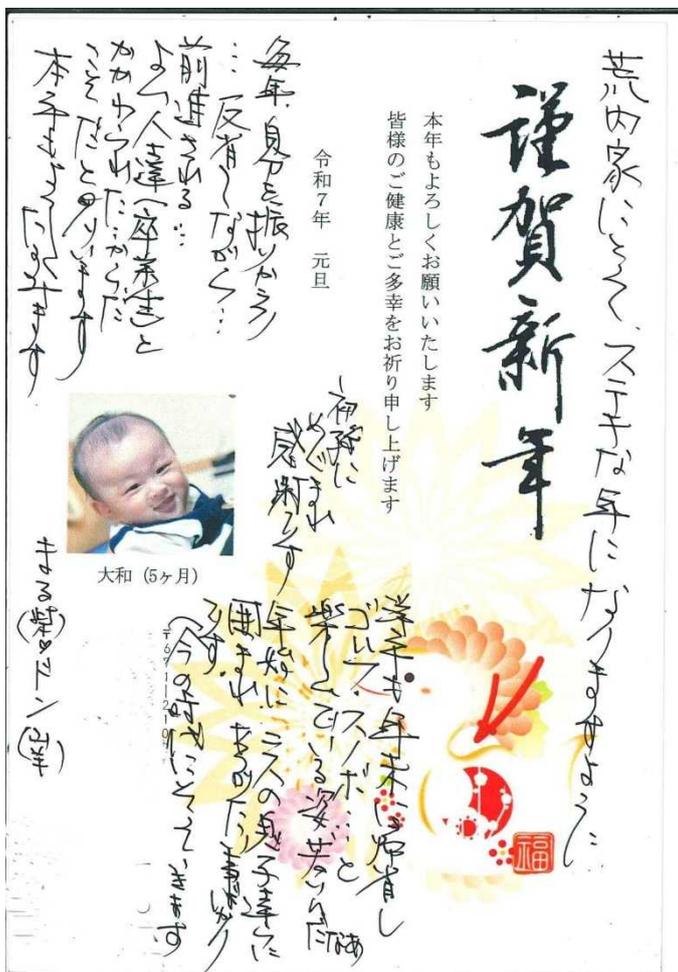
連絡通りになりました。来年度からは、健康志向の取り組みが期待されます。忙しい日々の中、「おのれ」を意識して取り組んで、先生の怒罵(笑)と思われず、学業に正しく取組んで、お礼です。先生ご健勝を祈ります。

学年に助っ人で授業に行き、一年だけの関わりである生徒でしたが、「これでもか」と言うくらいに、納得がいくまで質問攻めにあっていた生徒です。

「理解しないのは恥ずかしい、できないのは悔しい」とよく言っていました。

そのやり取りの中での掛け声を「怒号」と言われるとねえ。まあ、(笑)なので、お約束の一文なのでしょう。

(25歳 女性)



代筆(2)の紹介です。以前、散歩道で紹介をした、新米を送っていただいた方です。毎年、卒業生以上に気に掛けていただき有り難い限りです。

毎年達筆で、文章を読み取りつつ内容の理解を図る際に、お母様の心根も知ることができ私自身も救われるところも多く、楽しみにしてしまいます。卒業生自身は、同窓会での会話でお礼は言ってくれますが、すっかりとお母様の代筆を当たり前に行っているところは少しけしからんですね。

(29歳 男性の保護者)

本年、「年賀終い」の文言を含んだ年賀状も多く届きました。時代の流れで仕方ないと思います。ただ、それらの多くは、通信面が業者に発注されたかなりの厚みを帯びた葉書で、それ以外の文字を見ることはできないものでした。通信費が1枚85円となり、家族写真等をそれなりにしてもらおうと思えば、その作業に対して、1枚50～100円ほどかかるのだらうなあと思いつつ、年賀終いも当たり前なのだろうと思いました。

一方で、有り難いことに生徒関係で200枚弱ほどの年賀状も届きました。もちろん、こちらから送っていることもあります。私自身が「年賀終い」を考えたとき、その心を見抜いてか「先生の便りを毎年楽しみにしています」などと一言付け加えられているものも、今年は多かったです。「これを機会に終うん違う？」を、先に阻止されたのかも。

ただ、そんなことよりも今回紹介したものだけでなく、一年に一回のやり取りの中に、その一年間が伝わってくる葉書を頂くに付け、「終わったらあかんあ」と考えた2025年の初春でした。

また、多くの訃報も届きました。お世話になった方の訃報は、寂しさも哀しさも言い尽くせないお礼の言葉も山ほどあります。ただただ冥福をお祈りするしかないのですが。

紙面には、書いたことに対する「責任」が残ります。伝えたいことを書く「想い」が形になります。卒業してすぐは、「挨拶」の面倒臭さがあったのかもしれませんが、今、時が過ぎて自分の立場が変わったときにふっと振り返った様子を一言添えられた葉書を見て、その「卒業生」の礎に関わらせてもらっていることを感謝せずにはいられません。それを2025年は強く感じて、一年間大切にしたいと思います。